

# 天津市 概況

## 1 基本概況



面積	11966.45 km <sup>2</sup> (2021年)
人口	1363万人 (2022年末常住人口) うち、都市部常住 1160.6万人、農村部常住 202.94万人
人口自然増加率	-1.68%
65歳以上人口比	17.0% (2022年)
直轄地域行政区	16 自治区
国際空港	天津濱海国際空港
地区生産値	16331.34 億元 (2022年)

### 天津市

中華人民共和国の直轄市の一つ（略称は津）。華北平原海河の五大支流の合流する所に位置し、東に渤海を、北に燕山を臨む。市内を流れる「海河（中国北部最大の川）」は天津の母親河とも呼ばれ、環渤海湾地域の経済的中心地であり、中国北方最大の対外開放港である。首都北京市とは高速道路、高速直通列車、京津城際線によって、30分から2時間以内で結ばれている。元々は海河の河港であったが、河口の塘沽に大規模な港湾やコンテナターミナル、工業地帯が形成されている。

#### ・貿易港としての発展

1858年、アロー戦争（第2次アヘン戦争）で英仏連合軍に敗北し、天津条約が締結、次いで締結した北京条約で1860年に天津は開港され、以後北京の外港として急速な発展。19世紀後半から20世紀前半にかけて、日本他各国が相次いで天津租界を設置し、

中国で最も租界の数が多い都市となった。戦後はアメリカ軍が駐留したものの、1949年に中華人民共和国が成立すると天津は直轄市に指定され、中華人民共和国の工業及び貿易の拠点として発展し現在に至っている。渤海湾内の天津港はコンテナクレーンが立ち並ぶ中国北部最大、中国第三の国際貿易港である。また中国第四の工業基地を持つ。

・文化面

同市では古くから伝能が発達し、天津快板、相声、京韻太鼓などが有名。泥人張、年画などの工芸も盛んである。また麻花（中国風かりんとう）、狗不理包子（肉まん）、耳朵眼炸糕など様々のおいしい小吃（軽食）でも知られる。

## 2 経済概況

2004年に中央政府が提唱した北京市（京）、天津市（津）、河北省（冀）で構成する経済圏「京津冀（けいしんき）一体化」構想のもと、2014年に省市を跨いだ協同発展を国家戦略として正式に位置づけた。

### 2022年の主要経済指標

GRP （域内総生産）	1兆6,311億3,400万元（前年比1.0%増） 第一次産業 273億1,500万元（同2.9%増） 第二次産業 6,038億9,300万元（同0.5%減） 第三次産業 9,999億2,600万元（同1.7%増）
一人当たりGRP	119,235元（前年比1.8%増）
消費者物価指数（CPI）	前年比1.9%増
生産者物価指数（PPI）	前年比5.8%増
外資実際利用額	59億5,009万ドル（前年比10.4%増）
日本からの直接投資	4億4,221万ドル（前年比601.8%増）
対外貿易の状況	輸出入総額：8,448億5,200万元（前年比1.4%減） 輸出総額：3,803億5,900万元（同1.9%減） 輸入総額：4,644億9,300万元（同1.0%減）
対日本貿易の状況 前年比増減は、2021年の数字を基に協会で算出。	輸出入総額：672億3,900万元（前年比2.9%増） 輸出総額：228億6,600万元（同23.1%増） 輸入総額：443億7,400万元（同5.3%減）
都市部居民可処分所得	53,003元（前年比2.9%増）
農村部居民可処分所得	29,018元（前年比3.8%増）

### ■主な開発区

#### 【国家級経済技術開発区】

天津経済技術開発区、東麗経済技術開発区、濱海新技術産業開発区、西青経済技術開発区、武清経済技術開発区、北辰経済技術開発区、天津子牙経済技術開発区

#### 【国家級ハイテク産業開発区】

天津濱海高技術産業開発区

#### 【保税区】

天津港保税区、天津泰達綜合保税区（前・天津出口加工区）、天津東疆綜合保税港区

(天津東疆保稅港区)、天津港綜合保稅区 (天津保稅物流園區)  
**【自由貿易試驗区】**  
 天津自由貿易試驗区

■主要現地企業

愛瑪科技集團	電動二輪車の製造業ではトップクラスで、同産業の中では最も老舗企業の一つ。
新天鋼集團	黒色金属精錬および圧延加工業を主要業種とするグループ会社。2020年中国民間企業500強では101位にランクイン。
天津泰達投資有限公司 (TEDA)	金融・地域開発・生態環境保護・製造業・新興産業を主とする投資グループ会社。
渤海銀行	1996年以來、初となる政府の全国規模の株式制商業銀行設立の批准を受けて2005年12月に開設。
天津航空	2007年設立のLCC航空会社。コールサインは「神龍」。ハブ空港は天津濱海国際空港。

3 日本の友好都市

天津市…北海道函館市、千葉県千葉市、三重県四日市市、兵庫県神戸市  
 天津市薊県…福島県西郷村  
 天津市和平区…兵庫県播磨町  
 ※一般財団法人自治体国際化協会 HP 参照

4 その他

■出身・関連著名人

温家宝 (中華人民共和国第6代国務院総理)  
潘慶林 (元全国政治協商会議委員)  
陳淑梅 (言語学者)

■名所

五大道

洋館が集中する5つの大通りに由来し、現在は22本の道路、総延長17kmの街道。民国時代の大統領、内閣総理の旧居、王府など異国情緒あふれる洋館が立ち並ぶ人気の観光スポット。

天津テレビ塔

略称は“天塔”。高さは415.2m。地上248m~278mの間にUF0型の展望スペース(7階建て)があり、そのうち3階には回転レストラン(200人同時に収容可能)があり、絶好の夜景スポットになっている。また、水上に位置しており、周りには面積約21ヘクタールの湖があるため、湖は「天塔湖」と呼ばれている。天塔湖には最先端の音楽噴水と水幕映画(噴水が激しく噴き上げる水で作った幕に映画を投影するもの)が設けられている。

独楽寺 (中国全国重要文化財)

唐代に建立された仏教寺院。の墓10万基以上が祀られており、ひとつの家系が葬られた墓地としては最古かつ最大規模。

## ■名物

狗不理の肉まん、十八街麻花、耳朵眼の揚げ餅は、「天津三大名物」とされている。

### 狗不理包子（狗不理の肉まん）

「狗不理」は1858年から続く老舗ブランドで国家非物質文化遺産に登録されており、菊の花のような美しいひだが特徴の肉まん。名前は創始者・高貴友の幼名「狗子」に由来し、高貴友の肉まんが評判になり接客する余裕がなくなるほど大勢の客が来たため、「狗子賣包子，不理人（狗子は肉まんを売ってばかりで人を相手にしない）」と囃され、のちに「狗不理」と略して呼ばれるようになったという。

### 桂発祥十八街麻花（桂発祥十八街のかりんとう）

全国的に有名な天津銘菓のかりんとう。麻花（マーファ）は一般的にお粥や豆乳などと一緒に朝食でよく食べられる揚げパンで、清朝末に店を構えた「桂発祥十八街」も当初は揚げパンの麻花を売っていたが、ゴマやアーモンド、桂花などの生地と一緒にねじった揚げ菓子として売り出したところ人気を得たという。味や大きさなど様々な種類がある。

### 耳朵眼炸糕（あんこ入り揚げ餅）

「耳朵眼」は1900年創業で、名前は当時の店が「耳朵眼（耳目）通り」に接していたことに由来する。小さな屋台で売っていた揚げ餅が評判になったころ、餅を意味する「糕」と、物事がより高まる・成長する縁起の良い字「高」の発音が同じであることからお祝いの品に喜ばれるようになり、更に繁盛するようになったという。塩味を聞かせたサクサクの皮と、滑らかでどっしりとした餡が特徴。

### 天津板栗（天津甘栗）

日本でもおなじみの甘栗。主要産地は天津市薊県の以外にも北京や承德など広範だが、かつてこれらの地域でとれた栗は天津から輸出されていたため「天津甘栗」と呼ばれるようになった。日本以外にも、オーストラリアやフィリピンなど諸外国に向けて輸出されている。

## 5 指導者の略歴

天津市党委員会書記 陳 敏爾（ちん びんじ）

1960年9月生まれ

浙江省紹興市出身、漢民族

現職：中央政治局委員、北京市党委員会書記

学歴：紹興師範専門学校中国語学部

#### 【主な略歴】

1997年 - 浙江省寧波市副市長・市委常委

1999年 - 浙江省寧波市党委副書記

2002年 - 浙江省党委宣传部部長

2007年 - 浙江省党常委委員・副省長

2013年 - 貴州省党委副書記・省長

2015年 - 貴州省党委書記

2017年 - 重慶市党委書記、中央政治局委員

2022年 - 天津市党委書記、中央政治局委員

天津市市長 張 工（ちょう こう）

1961 年 8 月生まれ

湖北省武漢市出身、漢民族

1994 年 5 月中国共産党入党

現職：第 20 期中央委員、天津市委副書記、市長

学歴：北京工業大学第一分校・電気エンジニア系電機専攻

【主な略歴】

2013 年 2 月 - 北京市副市長、北京市發展・改革委員会主任・党組書記

2018 年 10 月 - 中華全国総工会副主席・書記処書記

2020 年 7 月 - 国家市場監督管理総局党組書記、局長

2022 年 5 月 - 天津市副市長・党委副書記

2022 年 7 月 - 天津市市長・委副書記